

単元名 【旧】(参考単元)だんだん だんボール(造形遊び)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) ダンボールをテープで接着してつないだり、用具を用いて切ったり穴をあけたりして、つくり方を工夫することができる。

(2) 開いたダンボール箱の形や、並べたりつないだりした形から自分がしたいことを思い付いたり考えたりすることができる。

友達に話したり、友達に聞いたりして、大きなダンボールで形づくる楽しさや活動の面白さを感じることができる。

(3) 体全体を使って、大きなダンボールの特徴を感じながら、広い空間で活動することを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080310_001

【準備等】ダンボール箱、ダンボールカッター、粘着テープ、デジタルカメラ、クレヨン、パス

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|---|
| <p>1～3 開いたダンボールで様々な造形活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンボールで、どんなことができるか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・立てることができる。 ・つなげることができる。 ・囲むことができる。 <p>★開いたダンボールで、できることをやってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思い付いたことを試したり、つくり方を工夫したりして造形活動を楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルができそうだよ。 ○友達と関わり合ったり、話し合ったりして活動を広げる(言語活動) <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルと一緒に入ってみよう。 ・友達とつなげてみよう。 ○自分が気に入ったところや、工夫したところをデジタルカメラで撮影をする。 ○片付けをして、活動場所を元のようにきれいにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書1・2下 P.36, 37 ・事前に机のない空き教室や特別教室、学校によっては、オープンスペースなど広い空間で活動できるように、他学年の了解を得ておく。 ・事前に段ボール箱を集めて保管できるような校内の体制を整える。 ・教科書P. 36, 37の活動の様子を参考にさせる ・教科書P. 53のダンボールカッターの使い方を参考にして、安全指導をする。 ・ダンボールを立たせたり、つないだりしながら発想したことを試して形づくるよう促す。 ・ダンボールカッターや粘着テープの置き場所を指示しておく。 ・使わなくなったダンボールや丸めた粘着テープ等の捨てるものの場所を決めて、散らからないよう配慮する。 【評】造形活動を通して、用具や材料を適切に使い、つくり方を工夫する「創造的な技能」を評価する。 ・装飾的な活動をしたい児童のために、クレヨンやパスを用意しておくとうい。 【評】造形活動を通して、ダンボールの形などから、自分がしたいことを思い付いたり考えたりする「発想や構想の能力」を評価する。 ・工夫したところに着目させて撮影させる。 ・ゴミを分別できるよう準備しておき、指導する。 ・用具の数や片づけ方を確認する。 |

【 備 考 】